

緑地保全と安全・安心の 等々力緑地を 大規模工事、土壤汚染対策の不安

川崎とどろきパーク株式会社は12月15日から、等々力緑地内の大がかりな工事を開始します。緑地内のほとんどが高さ3メートルの塀で囲まれます。周辺住民は工事による住環境悪化に悩まされることになります。工事車両によって、子どもたちの通学や遊びの場が危険にされされます。工事の安全・安心を求める署名にご協力をお願いします。



大規模工事がはじまれば緑地内のほとんどが高さ3メートルの鉄板の塀で囲まる（等々力野球場の北側）

複合住環境被害への不安

緑地内の建物の解体・建設工事が、ほぼいっせいに行われ、2029年度末までつづけられます。

緑地内の施設は長期にわたって利用休止、広範囲の立ち入り禁止エリアが設定されます。緑地全体が巨大な工事現場になります。大切な自然（希少生物・植物、樹木など）がどこまで保全されるかが危惧されます。

工事の騒音、粉塵、振動が複合的に引き起こされ、ダンプなどの大型工事車両がひっきりなしに走行し、車両の往来・駐車などで交通安全への不安が日常化します。通学・通園の子どもたちへの交通安全対策は真剣に求められます。

すでに ヒ素、フッ素、鉛など有害物質が

緑地内の土壤汚染問題では、工事が始まる前にすでに、ヒ素、フッ素、鉛などの有害物質があることが判明しています。

2020年に開業した等々力野球場工事では、ヒ素や六価クロムなどが出土し、対策費に35億9000万円の予算が計上され、開業が2年半遅れました。

等々力緑地再編整備・工事説明会

- 11月15日(土) 午前10~12時
- とどろきスタジアム(旧陸上競技場) 2F

事業者・川崎とどろきパーク株式会社
施工者・東急建設（公園基盤施設整備等）
・フジタ（新陸上競技場）
・大山組（自由提案施設の一部）

* サッカースタジアム、新アリーナを施工する大成建設からの工事説明は、今回はありません。

かつて等々力緑地は砂利採取場で、掘って掘って掘りまくった後に7つの池が残りました。その池を埋めるため、どこからどんな土砂や廃棄物を運んだかの記録は残っていません。

土壤汚染対策は全面的な調査を行い、その情報を市民に公表し、土壤汚染の完全撤去まで迅速な工事は許されません。



ヒ素、六価クロムが出土し、開業が2年半遅れた野球場

とどろきアリーナの長期使用 & 工事の安全・安心を求める 二つの署名にご協力を